本日のめあて

①**子どもの貧困**について

②**できること**（取組と実践）

③**より良い会議**について

1

本日のグループルール

グループで話し合いをする際、アヒルを持った人のみ安心して発言できます。

【質問する時も同様です。】

アヒルを持った人が「この人に意見を聴いてみたい」と思った時は、その人にアヒルを渡してください。

2

2

ワークのルール

「何もありません」も大丈夫です。

相手の意見を最後まで聴いて

まずは受け入れましょう！

発言のあとに「**よっ！**」と言い

拍手　をしてあげましょう！

3

3

フランスの哲学者ヴォルテール

私はあなたの

意見には反対だ

だが　あなたが

それを主張する権利は

命をかけて守る

4

4

本当（ほんとう）の

話（はな）し合（あ）いは

聴（き）き

合（あ）うこと

5

②意図的な感情表出

支援に携わる上で **聴く力**

「**わかりあえなさ**」から始める

「何が起きているのか」を**知ろう**／**分かろう**とすること

正解を手放す

どんな素晴らしい研修を受けるよりも

当事者の**声**を聴く方が役に立つ

6

グループ内で、自己紹介

① 所属

② 職種

③ 名前

④ 経験年数

⑤ **「最近、頑張っていること」**

※できれば、エピソードを交えて！

1人あたり、30秒程度

オンラインの方々は、申し訳ありません…
様子をご覧ください。

※グループで、一番がんばっている！！！と思った人を、頭の中にインプット！
※間がもたない時は、質問などをして、お互いフォローしましょう！

7

7

会議の状況チェック

■時間通り始まらない
■時間内で終わらない
■長い
■意見を言う人が決まっている
■一言も発言しない人がいる
■活発な意見が出ない
■人が意見を言ってる時に私語が多い
■御前会議
■決まりかけたことがトップの一言で変わる
■感情的なやりとりで周りが引いてしまう　　etc

8

より良い会議／提案／取組

智恵／アイデアを出し合う

ファシリテーション

司会／進行／マネジメント

会議＝組織

会議とは

関係者が集まり、特定の目的（議題）に関して意見交換・審議し、意思決定をすること、及びその構成員の集まり

3つの種類

報告／審議／協議

会議のグラウンドルール
発言は3分以内を目指しましょう
子どものために話し合っていることを、忘れないようにしましょう
一人ひとりの発想を尊重しましょう
人の発言は最後まで聞きましょう
発言するときは、結論から。 例）「私は ～ だと思います。理由は ～ だからです」
反対意見は大歓迎。 でも、反対するときには具体的な代替案を出しましょう。
メモ禁止

5W2Hを意識する
Why／目的 なぜ？
What／内容 なにを？
Who／主体 だれが？
Where／場所 どこで？どこへ？
When／期限 いつ？いつまでに？
How／方法 どのように？
How much／程度 どのくらい？

時間を意識する

－職業人は時間を意識する必要がある
－時限のなかでより高い成果をめざさなければならない
（仕事には期限があり、目標は常に時限的である）
－時間は有限である。適切な対応力、実行力が求められる

Time　is　Money

30人が参加する会議が、いつも10分遅れる・・・

30人×10分＝300分（**5時間**）の損失

1人250円×30人＝　**7,500**円の損失

13

13

討論が苦手な日本人…①

型にはめた教育

突拍子もない発言は嫌がられる

例）フィンランド：「なぜ」

14

討論が苦手な日本人…②

評価を気にしてしまう

例）作文

先生に向けて

怒られないように

人目を気にするあまり臆病に

15

討論が苦手な日本人…③

発言したことが自分自身に
自分全部になってしまう

否定されたら、自分の人格まで
否定されたと思ってしまう…

褒められたら、必要以上に
まいあがってしまう（苦笑）

16

フィンランドの小学生が考えた、会議のルール
1. 他人の発言をさえぎらない
2. 話すときは、だらだらとしゃべらない
3. 話すときに、怒ったり泣いたりしない
4. わからないことがあったら、すぐに質問する
5. 話を聞くときは、話している人の目を見る
6. 話を聞くときは、他のことをしない
7. 最後まで、きちんと話を聞く
8. 議論が台無しになるようなことを言わない
9. どのような意見であっても、間違いと決めつけない
10. 議論が終わったら、議論の内容の話はしない

より良い会議＝チーム・連携をより良く行うための方法

どう振る舞うのが　「正しい」か

どう振る舞うのが　「楽しい」か

「ユーモア」

笑いのとりあい／ずらし／虎視眈々
斬新なアイディア

正解を手放す

議論はまとめるためにあるのではなく
お互いの違いを**確認**するためにある

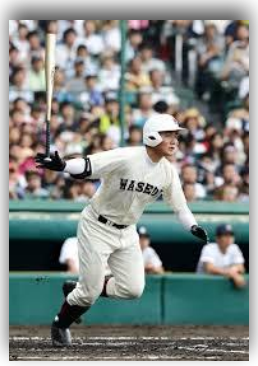
ブレーンストーミング

① 批判厳禁
② 自由奔放
③ 多数歓迎
④ 便乗発展

4つの約束とルールにより、選択肢や方法をたくさん出します。

その中から、**メリット**と**デメリット**を整理した上で、現時点での**より良い（ベターな）選択**を促します。

ブレーン　ストーミング



①視点の元

②視線の先

①視点の元

立場を変えて見る

相手のことを理解する

②視線の先

並行思考

視点（対象）を

全員で同時に移動

②視線の先

メリット・デメリットを

それぞれ　とにかく

たくさん　出し尽くす

その結果から　整理していく

ワーク／ブレーンストーミング

話を聞いて

■思ったこと／感じたこと

重プロ組リーダーとして

□良かったこと
□うまくいっていること
■困っていること
■うまくいっていないこと

発散

① 批判厳禁
② 自由奔放
③ 多数歓迎
④ 便乗発展

目的・理念の実現のために

事業計画・予算

①何が必要とされているのか？ **Why** 理念／目的 上位概念
（ニーズ・アセスメント）

②何をしないといけないのか？ **What** 方法／手段

③どんな組織・体制が必要なのか？
（ヒト・モノ・カネ）

who/where/when/how/how much

これから／ワーク

重プロ／組リーダーとして
これからを検討しましょう

理念／目的／上位概念

□取り組んでみたいことは？
□お手伝いしてもらいたいことは？

発散

①批判厳禁
②自由奔放
③多数歓迎
④便乗発展

ブレーンストーミング

優先順位をつける

収束

活用

収束

実際に何を行うか？

個人ワーク

出た提案の中から、自分が

「**やってみたい！**」と思った順番に

1番から**3**番までつけてください。

活用

1位＝**3**／2位＝**2**／3位＝**1**

PDCAサイクル
スクラップ＆ビルド

「失敗」と書いて**「成長」**と読む

より良い会議

楽しく／前向きで／安心して発言ができ

「**参加してよかった**」「**また参加したい**」

と思える会議

目的　理念　上位概念

会議に参加した人・ご縁をいただいた人

「みんなを楽しませること」